

第 27 回三木市俳句まつり

日時 令和 9 年 3 月 6 日 (土)

午前 10 時より

会場 三木市吉川町公民館

行 事 予 定

★吟行会及び当日句会

★応募作品成績発表及び表彰



西光寺 本堂

主催 三木市俳句まつり実行委員会

後援 三木市・三木市教育委員会

三木市議会・神戸新聞社・J A みのり

吉川町文化協会・吉川町公民館

俳句まつり作品募集要項

◆ 開催目的

大人から子供まで、俳句を通じて、情操と感性を育み交流を図ることを目的とする。

◆ 応募部門

イ. 一般の部

ロ. 小・中・高校生の部

小学校5年、6年生・中学校1年、2年、3年生・高校生の部、その他希望する学年。

◆ 2句1組

1人6組まで・自作未発表作品に限る。季節は問いません。

※小学生・中学生・高校生は1人1句

◆ 投 句 料

1組(2句)1,000円(定額小為替・普通為替・現金書留)

※小学生・中学生・高校生は無料

◆ 投 句 先

〒673-1114 三木市吉川町吉安246

吉川町公民館内 三木市俳句まつり実行委員会

電話 0794-72-1577 (休館日:祝日・月末日)

※応募用紙(投句用紙)は、公民館窓口、公民館ホームページでも入手できます。

◆ 締切り日(当日消印有効)

一般の部 令和8年11月10日(火)

小・中・高校生の部 令和8年10月30日(金)

◆ 選 者

朝妻 力 (雲の峰主宰) 小杉 伸一路(九年母主宰)

中岡 毅雄(いぶき共同代表) はりま だいすけ(斧主宰)

松本 幸平(吉川白萩俳句会代表) 森 ちづる(斧副主宰・編集長)

山尾 玉藻(火星主宰) 山口 昭男(秋草主宰)

山田 六甲(六花俳句会主宰) 吉村 玲子(三田俳句協会会長)

◆ 表 彰

三木市長賞・三木市教育長賞・三木市議会議長賞

神戸新聞社賞・JAみのり賞・吉川町文化協会長賞

吉川町公民館長賞・選者特選句賞・佳作・奨励賞

◆ 吟行会及び当日句会

吟行地: 清金山 西光寺(護摩祈禱法会を見学)

三木市吉川町上荒川168

午前10時～11時30分ごろ(送迎バスあり)

吟行会及び当日句会 出句1人2句 締切り 正午

表彰は大会賞に準じる

◆ 問合わせ先

〒673-1102 三木市吉川町富岡 127 西原 和孝 TEL 090-5058-4290

地域とともに一心の平和と安らぎを求めて 清金山 西光寺

清金山西光寺は、三木市吉川町上荒川に所在。高野山真言宗に属するお寺で、行基菩薩により、天平 10 年(738)に開創されたと伝えられている。山嶺にある観音堂(持仏堂)は、城(荒川城)の守り本尊を祀るために建立された。室町時代末期、三木城主・別所長治の家臣となった藤田氏は、三木合戦で敗れ廃城に。その後、亡き藤田氏一族の冥福を祈って西光寺が建立された。

元禄 7 年(1694)には、観音堂が再建され、根本寺院として西光寺が定まっている。

昭和 40 年(1965)台風 23 号により堂宇が全壊したが、天平様式を模した堂宇が鈴蘭台より移転され、昭和 43 年(1968)に落慶法要が執り行われた。

近年では、位牌堂・護摩堂・庫裏が再建され、真言密教の伝統を守りながらも、現代社会に即した形で仏教の智慧を伝える。

毎月の護摩祈祷法会(毎月 28 日午前 10 時より)、星まつり(節分会・毎年 2 月 3 日午後 6 時より)等々、季節ごとの行事が行われ、地域の人々の信仰を支える寺院として受け継がれ、現在に至っている。(西光寺ホームページ、吉川の歴史より)



美囊郡西国二十一番観音堂



小畑一天氏句碑

「訪ひ訪はれたるもそのころ菊膳」

西光寺
入口



護摩堂



俳句まつりの吟行に合わせて、特別に不動護摩供を行っていただく予定です。